

六ヶ所再処理工場と核兵器

—資源の有効利用とゴミ減容?—

2019年

6月4日 (火)

15:30-18:00

開場 15:00

場所：衆議院第一議員会館大会議室

(最寄り駅：東京メトロ 国会議事堂前駅)

Japan's
Plutonium
Policy

日本は、原発の使用済み燃料から核兵器に利用できるプルトニウムを取り出す再処理計画に長年巨額の資金を投じてきました。プルトニウムは高速増殖炉で使うはずでしたが、高速増殖炉計画の頓挫のため、核兵器数千発分がたまってしまっています。そのプルトニウムを原発で無理やり燃して減らそうという計画も進んでいません。にもかかわらず、日本は六ヶ所再処理工場の運転を2021年度に始めようとしています。

核燃料サイクルにかんする国際的権威であるフランク・フォンヒッペルさん、カン・ジョンミンさんをお招きし、資源の有効利用とゴミ減容という再処理のうたい文句の現実について世界の経験から学び、日本の進むべき道について考えます。ぜひご参加ください。

再処理・高速炉は核のゴミをへらせるか？

フランク・フォンヒッペル (米プリンストン大学名誉教授)

カン・ジョンミン (前韓国原子力安全委員会委員長)

使用済みMOX燃料を第二再処理工場で再処理？

松久保 肇 (原子力資料情報室事務局長)

再処理の代替策は？——福島の教訓

フランク・フォンヒッペル & カン・ジョンミン

参加費：無料 (同時通訳有り)、予約優先

予約方法：QRコードまたはウェブフォームから

(<http://bit.ly/2Hp7NTD>)

主催：NPO法人 原子力資料情報室

TEL: 03-6821-3211 / Email: contact@cnic.jp

協力：核情報、原水爆禁止日本国民会議

